

会議録

会議の名称	令和7年度第2回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和7年7月10日（木）午前10時30分から午前11時25分まで
開催場所	西東京市役所防災・保谷保健福祉総合センター6階講座室2
出席者	【委員】 古厩委員、関根委員、畠山委員、町田委員、富樫委員、小林委員、大林委員、滝沢委員、小山委員、下田委員、岩澤委員、中山委員
議題	西東京市地域公共交通計画の施策について 施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討
報告	・地域公共交通計画における目標の達成状況を評価するための指標 ・はなバスの広告事業について ・はなバス第2ルート⑦JA東京みらい保谷支店の名称変更について
その他	・令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定） ・各委員より
会議資料の名称	≪配布資料≫ 資料1－1 公共交通空白地域における実証運行について 資料1－2 令和7年度実証運行のスケジュール（予定） 資料2 目標の達成状況を評価するための指標 資料3 はなバスの広告事業について 資料4 はなバス第2ルート⑦JA東京みらい保谷支店の名称変更について 資料5 令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開 会 ○会 長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。 ～全員賛成～ ○会 長： それでは、本日の会議については公開とする。	
2 議 事 協議事項「施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討」について ○会 長： 協議事項「施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討」の議事へ入る。 令和5年の道路運送法の改正に伴い、運賃については、公聴会の開催等により住民等の意見を聞き、その後協議会において協議を行うこととなった。先ほど、この地域公共交通会議の分科会である運賃協議分科会を、運行事業者ごとに開催し、運賃について協議が調ったことを報告する。 今回の実証運行の運賃について、令和7年5月15日から令和7年6月5	

日まで、市報及び市のホームページで意見募集を行い、1 件のご意見が寄せられた。

それを踏まえ、運賃協議分科会では以下の意見や質問が出た。

他自治体で実施されている事例との比較の必要性の質問には、運行の性質が異なるから比較対象ではないと考えている旨を回答した。

ルートの延伸や事業者の増による予算の兼ね合いについての質問には、市の現行予算で担保されている旨を回答した。

最後に運賃協議分科会と地域公共交通会議の関係性などの意見を頂戴し、本実証運行に関する西東京市地域公共交通会議の議論に鑑みて、現状の手続きで問題ないことを確認した。

運賃協議分科会においては、実証運行の運賃は1 人1 乗車あたり300円とし、未就学児は無料、という内容で協議が調った。運賃協議分科会の報告は以上となる。続いて、事務局から説明を求める。

○事務局： 資料1-1、1-2、参考資料3の説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば挙手願いたい。

○委 員： 実証運行の実施期間について、長い期間を想定しているが、途中でテコ入れを想定しているのか。

○事務局： 最長で令和9年3月までを想定している。実証運行をする中で利用者アンケートの内容結果を地域公共交通会議に示しながら検討していきたいと考えている。

○委 員： 運行見直しの時期は決まっているか。

○事務局： 現状では定まっていない。アンケートの回答内容を鑑みながら、地域公共交通会議に諮っていきたい。

○委 員： 実験をするのであれば、スケジュールを明確にした方が良いように感じる。

他自治体のデマンド交通も拝見したが、停留所がわかりにくいと感じる。ラミネートされた標示を壁に貼っているところも多いが視認性が悪い。また、道路への塗装などもあり、自治体によって対応がばらばらである。こういった実施方法を検討しているか。

○事務局： 区域運行のため、乗降地点等にはラミネート標示を貼る対応となる。

○委 員： わかりやすい仕掛けを用意した方がいいと考える。

○委 員： 事業者2社で車両台数は何台か。また、概ねで構わないので、運転手の人数は何人を想定しているか。

- 事務局： それぞれ1台である。運転手は休憩を鑑みて、午前午後1名ずつを想定している。
- 委員： 高齢者が行動様式を変えるためには半年かかると前回の実証実験の勉強会で発言があり、ある程度時間がかかると言われているが、今回の実証実験では長期間の運用のため、高齢者の利用も期待できそう。また、ルートの中には武蔵野大学があり、住民ではなく通勤通学で利用される人がいそう。武蔵野大学等のアクセスマップにも記載できれば、更なる利用が期待できる。併せて、運行を有効に利用してもらうためのイベント等、手段だけではなく目的を用意してほしいと考える。
- 事務局： 地域内には武蔵野大学、田無工科高等学校、MUFGパーク等がある。実証運行の利用者が増えるよう、連携していきたいと考えている。
- 委員： ルートの延伸が決まった理由を教えてください。
- 事務局： 当初1社1台往復30分1時間に2便で運行することを想定していたが、2社に手上げ頂いたことから20分に1本の間隔で運行することとなった。都営柳沢2丁目アパートや保谷柳沢児童館の利用者への利便性向上や運転手の安全配慮と休憩確保のため、むくのき公園脇での一時的な待機ができると判断し、延伸を決めた。
- 委員： 2社に委託することでコストが増えるかと思うが、予算は確保できているのか。途中の打ち切りなどの可能性はあるのか。
- 事務局： 車両が2台となっても賄える予算を確保している。前回の実証運行のように早期に終了することは想定していない。多くの利用者に利用いただくことで費用も大きく変わってくるため、周知に努める。
- 委員： 地域住民だけでなく、田無駅でも啓発を行うことが大事だと考える。
- 委員： 運行日が平日となっているが、土日も動かした方がいいのではないかな。
- 事務局： 利用状況や地域住民へのアンケートの回答では、平日日中のニーズが高かったことから実証運行では平日の運行を行う。
- 会長： 「公共交通空白地域における実証運行について」は、道路運送法上の手続きとして「協議が調っていることの証明書」を運行事業者に交付し、関東運輸局へ各種手続きを行う必要がある。本日の議題について、協議が調ったとしてよろしければ、挙手をお願いしたい。
- 《挙手全員》
- 会長： 挙手全員のため、本会議において合意をいただいたと扱う。頂戴した意見のうち、利用者への周知方法や事業の周知については、引き続き事務局

で検討されたい。

協議事項「施策 3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討」の議論は以上で終了する。

報告事項①「地域公共交通計画における目標の達成状況を評価するための指標」について

○会 長： (2) 報告事項①「地域公共交通計画における目標の達成状況を評価するための指標」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料 2 の説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 市内でも電動キックボードのポートが増え、流行ってきていると感じる。シェアサイクルに類似するため、今後情報収集する方がいいのではないか。

○会 長： 事務局は、いただいたご提案を施策の推進に活かし、適宜取組状況の報告を行うこと。

報告事項②「はなバスの広告事業について」

③「はなバス第 2 ルート⑰JA東京みらい保谷支店の名称変更について」

○会 長： 報告事項②「はなバスの広告事業について」並びに③「はなバス第 2 ルート⑰JA東京みらい保谷支店の名称変更について」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料 3、4 の説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 小学生アナウンスに副バス停名称が付け加わるということかと思うが、小学生アナウンスは更新時期が決まっているという認識であるが、申込を受けた際に対応が可能なのか。

○事務局： ネーミングライツ・パートナーについては随時募集は行わず、小学生アナウンスの収録に間に合うように時期を決めて、募集し決定する。

○委 員： JA東京みらい保谷支店の停留所名の変更だが、利用者の混乱を防ぐため、公共交通マップ等に、一定期間旧停留所名を併記してはどうか。

○事務局： 一定期間旧停留所名を併記できるよう調整する。

○委 員： いずれの事業についても、利用者への周知だけでなく、運行事業者の運転士の周知協力も徹底し、利用者へ適切な案内を行えるようにしていただきたい。

○会 長： 事務局は、適切な施策推進を行うこと。以上で議題を終了する。

その他 (1) 令和7年度西東京市地域公共交通会議スケジュール(予定)

○会 長： その他事項「令和7年度西東京市地域公共交通会議スケジュール(予定)」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料5の説明。

その他 (2) 各委員より

○会 長： 委員の皆様からのこの場で伝えたいことがあれば発言願いたい。

○委 員： 多摩六都科学館は宝の持ち腐れのように感じる。公共交通機関並びに西東京市の活性化に是非活用いただきたい。観光用でないと承知の上ではあるが、スカイツリー西東京に登りたいと考えるため、方策を検討いただきたい。

○委 員： 関東バスでは人員不足が厳しいことから、武蔵野営業所管内の路線、武蔵野市のムーバス、西東京市のはなバスの減便を行っているところである。季節柄運行間隔が空くことで利用者への迷惑をかけていることは承知している。会社の最優先事項として、採用を進めているが、月の採用が5名程度の中で、一方退職する人員もあり、賃金値上げ等で対策を講じているところである。市民には迷惑をお掛けする旨申し訳ない。寒くなるまでには復便したいと考えている

○会 長： 現在の委員の皆様任期については、令和7年7月31日までとなる。本日の会議が最後となる委員の皆様には2年間大変お世話になり、感謝申し上げます。

以上をもって令和7年度第2回西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上